

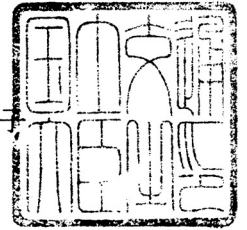


# 認 定 書

国住指第 7774 号  
平成 14 年 12 月 20 日

因幡電機産業株式会社  
代表取締役社長 出口 健 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-0052
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
給・排水管・ケーブル/未加硫ゴム・ポリオレフィン混入炭酸カルシウム充てん/壁耐火構造/貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添の通り

(別添)

1. 構造名

給・排水管・ケーブル／未加硫ゴム・ポリオレフィン混入炭酸カルシウム充填／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
開口部	(形状) 矩形 (面積) 0.150 m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積に対する給・排水管・ ケーブル断面積の総合計の割合)	31.02%以下
貫通する壁の構造等	コンクリート、厚さ 100 以上

(別添-1)

3. 材料構成

(寸法単位 : mm)

項目		申請構造	
給 ・ 排 水 管	銅管	規格	JIS H 3300
		外径	53.98 以下
		厚さ	2.4 以下
	銅管	規格	JIS G 3452, 3454, 3442
		外径	53.98 以下
		厚さ	2.4 以下
	ステンレス鋼管	規格	JIS G 3448, 3459
		外径	53.98 以下
		厚さ	2.4 以下
	ポリエチレン管, 架橋ポリエチレン管	規格	JIS K 6761, 6762, 6769, 6787
		外径	42.0 以下
		厚さ	5.3 以下
	ポリブテン管	規格	JIS K 6778, 6792
		外径	42.0 以下
		厚さ	3.6 以下
	発泡塩化ビニル管	外径	60.0 以下
		厚さ	9.0 以下
	金属強化架橋ポリエチレン管	外径	33.0 以下
		厚さ	3.0 以下
	可とうポリエチレン管	外径	35.0 以下
厚さ		1.0 以下	
可とう塩化ビニル管	外径	35.0 以下	
	厚さ	1.0 以下	
硬質塩化ビニル管	規格	JIS K 6741, 6742, 6776	
	外径	60.0 以下	
	厚さ	4.1 以下	
被覆銅管	規格*1 管	JIS H 3300	被覆材の種類： ・ポリエチレンフォーム 規格：JIS A 9511 ・難燃ポリエチレンフォーム ・ポリスチレンフォーム 規格：JIS A 9511 ・硬質ウレタンフォーム 規格：JIS A 9511 ・フェノールフォーム 規格：JIS A 9511 ・合成ゴム系フォーム (ニトリルゴム, スチレンゴム, クロロレンゴム, エチレンプロピレンゴム) ・グラスウール 規格：JIS A 9504 ・ロックウール 規格：JIS A 9504
	外径 管	96.0 以下	
	厚さ 管 被覆	2.4 以下 20.0 以下	
被覆銅管	規格*1 管	JIS G 3452, 3454, 3442	
	外径 管	96.0 以下	
	厚さ 管 被覆	2.4 以下 20.0 以下	
被覆ステンレス鋼管	規格*1 管	JIS G 3448, 3459	
	外径 管	96.0 以下	
	厚さ 管 被覆	2.4 以下 20.0 以下	
被覆金属強化架橋ポリエチレン管	外径 管	77.0 以下	
	厚さ 管 被覆	3.0 以下 20.0 以下	
	規格*1 管	JIS K 6761, 6762, 6769, 6787	
被覆ポリエチレン管, 被覆架橋ポリエチレン管	外径 管	65.0 以下	
	厚さ 管 被覆	5.3 以下 10.0 以下	
	規格*1 管	JIS K 6778, 6792	
被覆ポリブテン管	外径 管	65.0 以下	
	厚さ 管 被覆	3.6 以下 10.0 以下	
	外径 管	47.0 以下	
被覆可とうポリエチレン管	厚さ 管 被覆	1.0 以下 6.0 以下	
	外径 管	47.0 以下	
被覆可とう塩化ビニル管	厚さ 管 被覆	1.0 以下 6.0 以下	
	規格*1 管	JIS K 6741, 6742, 6776	
被覆硬質塩化ビニル管	外径 管	76.0 以下	
	厚さ 管 被覆	3.6 以下 12.0 以下	

(別添-1)

さ や 管 付	ポリエチレン管、架橋ポリエチレン管	規格	JIS K 6761, 6769, 6787	
		外径	34.0 以下	
		厚さ	4.3 以下	
	ポリプロピレン管	規格	JIS K 6778, 6792	
		外径	34.0 以下	
		厚さ	3.0 以下	
さや管仕様		外径	42.0 以下 (楕円形は断面積が 1385mm <sup>2</sup> 以下)	
		厚さ	2.0 以下	
ケーブル		規格	JIS C 3605, 3606, 3307, 3401, 3342, 3312	
		外径	40.0 以下 (平形は断面積が 1257mm <sup>2</sup> 以下のもの)	
		導体の総断面積	300mm <sup>2</sup> 以下 (1 本あたり)	
さや管付ケーブル		規格	JIS C 3605, 3606, 3307, 3401, 3342, 3312	
		外径	25.0 以下 (平形は断面積が 491 mm <sup>2</sup> 以下のもの)	
		導体の総断面積	114mm <sup>2</sup> 以下 (1 本あたり)	
		さや管 の仕様	外径 厚さ	42.0 以下 (楕円形は断面積が 1385 mm <sup>2</sup> 以下) 2.0 以下
防火 措 置 材 料	未加硫ゴム・ポリオレフィン 混入炭酸カルシウム *2	耐熱 シール材	密度	1.4g/cm <sup>3</sup>
			組成 (質量%)	
			使用量	充てん高さ：30 以上 (各面)
		フィルム	材質：ポリプロピレン 厚さ：30μm 以下	
金具		材質	鋼板	
		厚さ	1.6 以上	

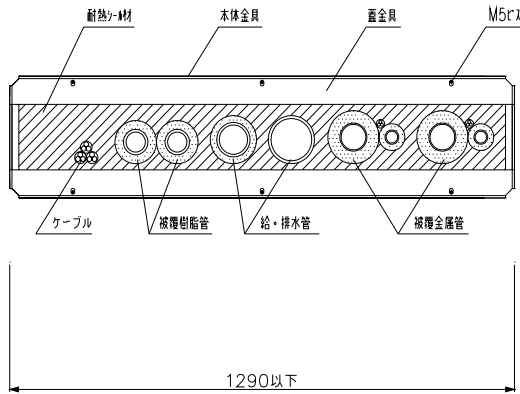
\*1：被覆を除く素管の規格を示す。

\*2：未加硫ゴム・ポリオレフィン混入炭酸カルシウム：以下「耐熱シール材」という

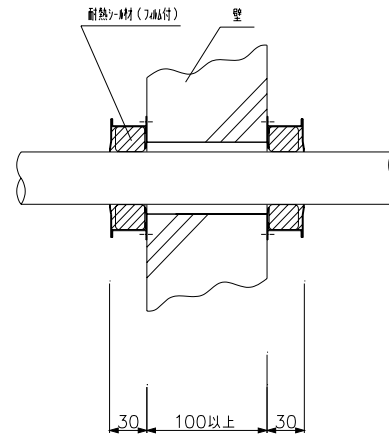
4. 構造説明図

構造説明図を図1に示す。

(寸法単位：mm)



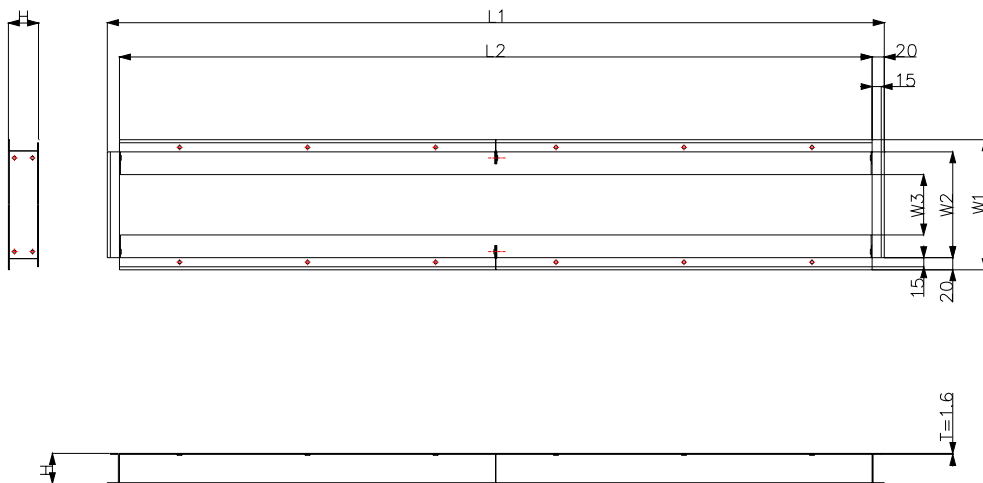
正面図



側断面図

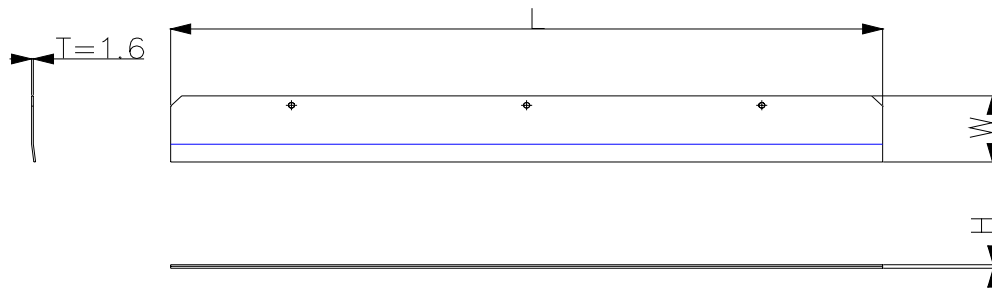
金具等の詳細構造 (本体金具)

(寸法単位：mm)



項目	長さ L1	長さ(内寸) L2	幅 W1	幅(内寸) W2	幅(底部) W3	高さH 壁両側施工
寸法	1290 以下	1250 以下	215 以下	175 以下	100 以下	26.4

注) 寸法は3のとおり



項目	長さ L	幅 W	高さ H
寸法	1290 以下	60 以下	3.6

図 1 構造説明図

注) 寸法は 3 のとおり

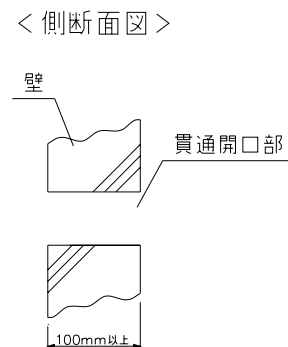
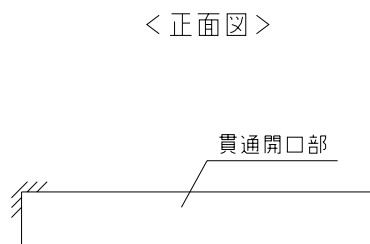
5. 施工方法

施工図（手順）を図2に示す。

施工は以下の手順で行う。

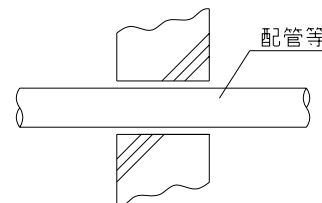
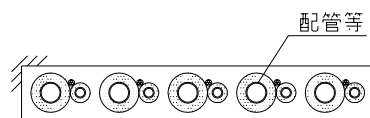
① 貫通開口部の設定

配管サイズ、本数及び占積率を考慮して貫通穴を設ける。



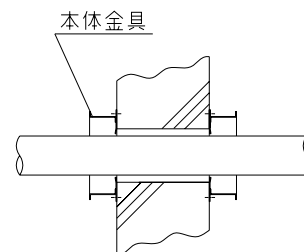
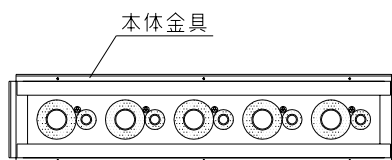
② 配管及び配線の設置

配管及び配線を設置して支持・固定する。



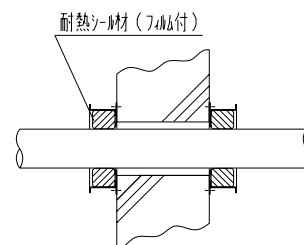
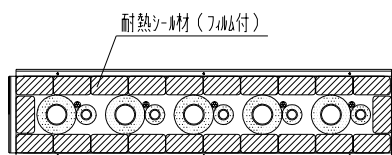
③ 本体金具の取付け

本体金具を両側の壁面にビスで取付ける。

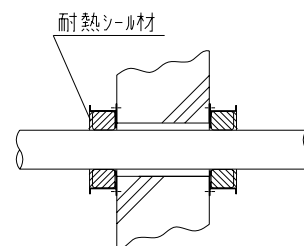
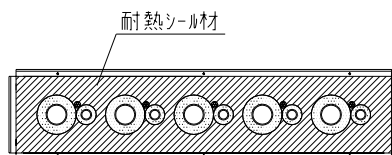


④ 耐熱シール材の充てん

耐熱シール材をフィルムのまま本体金具の内部に落とし込む。



⑤ 耐熱シール材の充てん・仕上げ残りの隙間に耐熱シール材を全て充てんし、隙間が無く、面一であることを確認し、脱落しないように仕上げる。



⑥ 蓋金具の取付け

蓋金具を本体金具に対してビスで組付けて完成する。

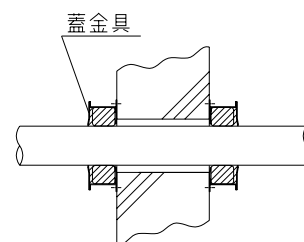
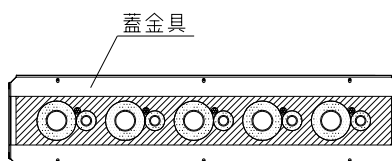


図2 施工図（手順）